

ごみ収集場所にネット設置 野生動物対策



4年

近藤令奈

広島工業大(広島市佐伯区)

では、新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンライン授業が主流になっていく。キャンパスを訪れる学生が減ったせいも、近くの山から野生の動物が下りてくるようになった。ごみの収集ステーションを荒らされることもあり、職員は頭を悩ませている。

広島工業大



る。

同大環境整備員の女性はハクビシンを目撃した。「大学で25年働いているが、学内で野生動物を見かけたのは初めて」と驚く。写真を撮ろうと近づいても逃げず、攻撃性も見られたため、整備員たちは警戒しているという。

大学側は、ごみが荒らされる被害があったキャンパス北側のごみ収集ステーションに、ネットや扉を設置して対策をした。同大財務部は「被害を減らすため、学生もごみ

は決められた場所に捨ててほしい。扉やネットを閉めることも心掛けて」と呼び掛けている。



ネットなどを設置して対策をしたごみ収集ステーション